

【やりとりと判定の実例：A2◎】

<ロールカード>

あなたは仕事で日本に来て、明日帰国します。急に具合が悪くなったので病院に来ました。
 医者の質問に答えてください。

T：テスター、S：受験者

はつわれい 発話例	はんてい ごんきよ 判定の根拠
T：こんにちは。どうしましたか。 S：あ、のどが痛いんです。① T：はい、のどだけですか、痛いのは。 S：んー、はい。② T：いつからですか。 S：あの、今朝からのどが痛くなって…。 T：はいはい。 S：ちょっと頭痛がありましたけど。③ T：えっと、では、朝から、今日の朝から、のどと、頭痛があるんですね。 S：そうですね。 T：はい、分かりました。朝ご飯は、食べられましたか。 S：はい、食べました。④ T：分かりました。では、えーっと、今夜、熱が出るかもしれません。 S：あ、そうですか。 T：はい。なので、薬を渡しますので、今日、帰ったら薬を飲んでください。 S：はい、分かりました。 T：そして、ゆっくり休んでください。 S：はい。 T：でー、少し、ちょっと心配なので、来週の同じ、来週ですね、一週間後に、また病院に、この病院に来てもらえますか。A S：えー、明日帰国なんですけど、どうしたらいいでしょうか。⑤ T：そうですか。んー、では、少し強い特別な薬を出しますので、それを飲んで、あの一、帰国してください。 S：はい、分かりました。 T：念のため、熱も出るかもしれませんが、マスクを忘れないでくださいね。 S：はい、分かりました。 T：では、薬を出しますので、受付の方に行ってください。 S：はい。	①～④聞かれたことに簡単に答えて必要な情報を伝えられる =タスクが達成できる テスターのA「来週また病院に来るように」という働きかけに対して、⑤は事情を説明し、どうすればいいかを相談する

JF 日本語教育スタンダード準拠
ロールプレイテスト 音声サンプル解説書

T: はい、お大事にしてください。 S: ありがとうございます。 T: はい。	
---	--

この例では、病院で、どこがどのくらい痛いかなどの簡単な質問に対して、短い簡単な言葉で答えられるかどうかで、タスクが達成できたかどうか判断します。この例では、①～④の発話により、達成できたと判断できます。

何とか達成（○）か、十分に達成（◎）かを判断するために、テスターはAで「来週また病院に来てもらえますか」と働きかけます。それに対し、受験者は⑤のように「明日帰国する」と簡単に事情を説明しています。判定の指標に照らし、最終的にこの受験者は◎と判定します。